

青森商工会議所 経営発達支援計画

令和4年度事業報告書

令和5年5月

令和4年度事業報告書

目 次

1. 地域の経済動向調査に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 ページ
 - ①経営課題アンケート調査
 - ②中小企業景況調査
 - ③LOBO（早期景気観測）調査
 - ④地域診断サービスによる調査

2. 需要動向調査に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 ページ
 - ①自社店舗等での需要動向調査アンケート
 - ②首都圏ビジネス交流拠点施設等での消費者ニーズアンケート調査

3. 経営状況の分析に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 ページ
 - ①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと経営分析
 - ②「窓口相談」、「巡回相談」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析
 - ③「金融相談会・金融支援」による小規模事業者の掘り起しと経営分析
 - ④「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した小規模事業者の掘り起こしと経営分析

4. 事業計画策定支援に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 ページ
 - ①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと事業計画策定
 - ②巡回・窓口相談による事業計画策定
 - ③創業・第二創業計画策定支援
 - ④事業承継計画策定支援

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9 ページ

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事 10 ページ

- ①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展 (B to B)
- ②食品を販売する事業者等を対象にした催事及び展示販売会等への出店支援の実施 (B to C)
- ③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓 (B to B)
- ④IT を活用した販路開拓支援の実施 (B to C)

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事 12 ページ

8. 経営指導員等の資質向上等に関する事 13 ページ

- ①「経営指導員等情報交換会」の開催
- ②組織内での支援ノウハウの共有

9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事 13 ページ

- ①小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会
- ②その他支援機関との情報交換

10. 地域経済の活性化に資する取り組みに関する事 14 ページ

- ①国内外からの誘客推進並びに経済交流推進事業
- ②ヘルスケア・ビジネス創造事業
- ③中心市街地活性化事業
- ④株式会社まちづくり青森との連携
- ⑤青森地域5大学等との連携事業
- ⑥まちなかキャンパスの開催
- ⑦人財育成 雪花雪中塾の開講
- ⑧コロナ禍における商取引支援事業

1. 地域の経済動向調査に関すること

(1) 事業内容

①経営課題アンケート調査

地域の中小企業・小規模事業者が抱える経営上の課題を把握し、当所の今後の経営支援につなげていくため、年間売上及び経常利益の推移状況、直面する経営課題、経営課題に対する対応状況、当所に対する意見・要望等を調査した。

【調査対象】当所会員事業所（議員、部会幹事、振興委員、青年部等）

【調査項目】売上及び経常利益推移、直面する経営課題、当所に対する意見要望等

【調査手法】調査票をFAXしFAX及びWEBにより回収

【分析手法】経営指導員等が分析

②中小企業景況調査

中小企業の景気動向を総合的に把握することを目的に、中小企業基盤整備機構が四半期毎に実施している中小企業景況調査において、当所対象企業60社による当地区内景気動向を把握した。

【調査対象】管内中小企業・小規模事業者（60社）

【調査項目】売上、資金繰り、仕入、在庫、採算、業況、従業員の状況、設備投資等

【調査手法】調査票を郵送し郵送により回収

【分析手法】当所対象企業の分析は経営指導員等が行い、全体的な分析は中小企業基盤整備機構が行った。

③LOBO（早期景気観測）調査

足元の景況感や直面する経営課題などを調査するため、日本商工会議所が毎月実施しているLOBO調査において、当所対象企業5社による当地区内の景況感、経営課題等を把握した。全体の調査結果は、日本商工会議所ホームページ及び当所会報「かけはし」等で公表した。

【調査対象】管内中小企業・小規模事業者（5社）

【調査項目】景況感、経営課題等

【調査手法】調査票をFAXしFAXにより回収

【分析手法】当所対象企業の分析は経営指導員等が行い、全体的な分析は日本商工会議所が行った。

④地域診断サービスによる調査

日本商工会議所が「RESAS」のデータを基に実施している「地域診断サービス」事業を活用し、地域経済の動向実態を把握し、管内小規模事業者の効果的な経営活動に反映させるため、データに基づいた説得力のある情報提供とその後の事業計画策定に活用した。

【調査項目】地域経済循環・生産分析、まちづくり・From-to分析、産業構造マップ等

【調査手法】国が提供するビックデータである「RESAS」を活用して地域経済の動向を調査

【分析手法】日本商工会議所が「RESAS」のデータを基に実施している「地域診断サービス」事業を活用した。

(2) 成果の活用

上記調査の結果は、広く一般に周知を図るため、当所ホームページで公表するほか、当所の常議員会等各会議での説明や会報「かけはし」でも公表した。また、経営指導員等が巡回指導を行う際の参考資料とした。

【目標と結果】

	項目	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①経営課題アンケート調査	1回	1回	1回	1回	1回
	②中小企業景況調査 60社	4回	4回	4回	4回	4回
	③LOBO（早期景気観測）調査 5社	12回	12回	12回	12回	12回
	④地域診断サービスによる調査	1回	1回	1回	1回	1回
結果	①経営課題アンケート調査	1回	1回			
	②中小企業景況調査 60社	4回	4回			
	③LOBO（早期景気観測）調査 5社	12回	12回			
	④地域診断サービスによる調査	1回	1回			

2. 需要動向調査に関すること

(1) 事業内容

①自社店舗等での需要動向調査アンケート

経営状況分析や事業計画策定支援を行った小売・サービス事業者等を対象に、自社顧客のニーズ把握を目的に自社店頭等で需要動向アンケート調査の作成支援を行った。実施にあたっては、アンケート内容が効果的な項目・構成となるよう、また、効果的な調査時期の選定などについても支援を行った。調査後は、得られたデータから商品・サービスが自社のターゲットやニーズに即しているかを経営指導員が分析し、支援対象事業者にフィードバックした。

【調査手段】店頭等での書面によるアンケート

【分析手段】経営指導員が分析を行い、必要に応じてよろず支援拠点や、中小企業119等の販路開拓の専門家の協力を仰いだ。

【調査項目】購入者の属性、購入商品、サービス、商品・サービス単価の高低、サービス・接客満足度、その他のニーズ等

【分析結果の活用】調査結果及び分析結果は経営指導員等が当該事業所に直接説明する形でフィードバックし、今後の事業計画策定に反映させるとともに、商品・サービスの見直し、新たな需要開拓に向けた新商品開発へつなげた。

○支援事業者数 **3事業者（カノン（花・植木小売業）、企業組合あおもり万華堂（飲食業）、グローバルキッチンサイゴン（飲食業））**

②首都圏ビジネス交流拠点施設等での消費者ニーズアンケート調査

本市の地域資源を活用した食品加工業者等3社を対象として、各社1商品に対する「食味」、「価格」、「容量」、「パッケージデザイン」等について、首都圏消費者に対し、アンケート調査を実施した。

【調査手段】WEBによるアンケート

【分析手段】経営指導員が分析し、必要に応じてよろず支援拠点や、中小企業119等の販路開拓の専門家の協力を仰いだ。

【調査項目】購入者の属性、購入商品、サービス、商品・サービス単価の高低、サービス・

接客満足度、その他のニーズなど

【分析結果の活用】 調査結果及び分析結果は経営指導員等が当該事業所に直接説明する形でフィードバックし、今後の事業計画策定に反映させていくとともに、商品・サービスの見直し、新たな需要開拓に向けた新商品開発へつなげた。

(実施内容)

東京国際フォーラムで開催された青森市企業立地セミナー（青森市）に参加し、セミナー参加者に対しサンプルを提供、Google フォームを活用してアンケートを回収した。その後アンケート結果を事業者へフィードバックした。

○支援事業者数 3事業者（三浦醸造（食料品製造業）、有限会社松栄堂（菓子・パン小売業・菓子製造業）、合同会社dashifactory雅（飲食業・食料品製造業））

【目標と結果】

	項目	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①自社店舗等での需要動向調査アンケートの調査対象事業者数	3社	3社	5社	5社	5社
	②首都圏ビジネス交流拠点施設等での消費者ニーズアンケート調査	3社	3社	5社	5社	5社
結果	①自社店舗等での需要動向調査アンケートの調査対象事業者数	3社	3社			
	②首都圏ビジネス交流拠点施設等での消費者ニーズアンケート調査	3社	3社			

3. 経営状況の分析に関すること

(1) 事業内容

①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと経営分析

経営課題を抱える小規模事業者を対象に、『安全性』、『収益性』、『成長性』などの経営指標や経営方針・今後の事業展開に活用できるセミナーを開催した。セミナー終了後、参加者の中から、意欲的で販路拡大の可能性の高い事業者を選定し経営分析につなげた。

(セミナーの開催内容)

(実施内容)

◇DX人材育成研修プログラム（経営分析を含む）

日 程 令和4年10月13日(木)

” 14日(金)

” 21日(金)

場 所 青森商工会議所会館 7階 研修室

講 師 佐々木 昌宏 氏（NTTラーニングシステムズ株式会社）

受講者数 延べ15名 ○経営分析件数 4件

◇ITを活用した販路開拓支援セミナー（経営分析を含む）

日 程 令和5年1月24日(火)

場 所 青森商工会議所会館 1階 AOMORI STARTUP CENTER、各事業所

講師 工藤 淳生 氏 (合同会社 StartUpNow 代表)
受講者数 延べ19名 ○経営分析件数 3件

◇政府支援制度講習会 & 個別相談会 (持続化補助金・事業再構築補助金等の活用で経営力強化)
(セミナー)

日程 令和4年9月1日(木)
場所 青森商工会議所会館 7階研修室
講師 川村 浩二 氏 (川村中小企業診断士事務所 代表、中小企業診断士)
受講者数 9名 ○経営分析件数 0件

(個別相談会)

日程 令和4年9月2日(金)
場所 青森商工会議所会館 7階研修室
講師 川村 浩二 氏 (川村中小企業診断士事務所 代表、中小企業診断士)
受講者数 5名 ○経営分析件数 1件

②「窓口相談」、「巡回相談」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析

経営指導員等が経営課題を抱える小規模事業者を訪問する巡回相談や、当所に設置している相談コーナーでの窓口相談で、補助金や各種事業計画の申請に係る経営指導・支援やヒアリングを通じて、経営状況の分析が必要な小規模事業者の掘り起こしと経営分析を行った。

○中小企業等事業再構築補助金申請支援時における経営分析件数	9件
○小規模事業者持続化補助金申請支援時における経営分析件数	36件
○ものづくり補助金申請支援時における経営分析件数	3件
○経営革新計画申請支援時における経営分析件数	1件
○事業継続力強化計画申請支援時における経営分析件数	1件
○先端設備等導入計画申請支援時における経営分析件数	12件
合計	62件

③「金融相談会・金融支援」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析

日本政策金融公庫青森支店国民生活事業と共催による「日本公庫1日金融相談会(年1回)」、や「定例相談会(月2回)」等を通じて、経営課題を抱える小規模事業者の掘り起こしを行った。また、マル経融資をはじめとした金融支援時に、『収益性』、『安全性』、『成長性』の財務分析を行うことにより経営改善や今後の事業展開のための事業計画策定に活用した。

○マル経推薦時における経営分析件数 41件

④「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した小規模事業者の掘り起こしと経営分析

当所1階の「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した事業者の経営分析を行い、今後の事業計画の見直し等へつなげた。

○創業後の経営分析件数 2件

(2) 分析結果の活用

分析結果は、事業者へフィードバックし事業計画の策定等に活用した。また、分析結果はデータベース化し、内部共有することで、経営指導員等のスキルアップに活用した。

起業関心層の掘り起こしと起業家コミュニティ形成を目的に、ワークショップを取り入れた全6回の実践型シリーズ講義を青森市と連携して実施し、ビジネスアイデアのブラッシュアップや事業計画の策定支援を行った。

〈第1回目 あお☆スタ起業塾〉

日 時 令和4年7月9日(土)～9月17日(土) 隔週土曜日
 場 所 AOMORI STARTUP CENTER
 講 師 AOMORI STARTUP CENTER コーディネーター 植松 宏真 氏
 AOMORI STARTUP CENTER コーディネーター 村上 雅章 氏
 appcycle(株) 代表取締役 重野 由佳 氏
 appcycle(株) 代表取締役 藤巻 圭 氏
 (同)Deepers&Co. 代表社員 三浦 裕行 氏
 (株)TOMUSHI 代表取締役 石田 健佑 氏
 (株)クロックアップ 代表取締役社長 中村 公一 氏
 ヤマモト食品株式会社 代表取締役社長 山本 浩平 氏
 日本政策金融公庫青森支店 国民生活事業 融資課長 岩附 豊 氏
 青森県信用保証協会 企業支援部創業・経営支援課 課長 中村 匡洋 氏
 受講者数 24名 ※計画策定支援件数は後述の創業計画策定件数でカウント

〈第2回目 あお☆スタ起業塾〉

日 時 令和5年1月14日(土)～3月25日(土) 隔週土曜日
 場 所 AOMORI STARTUP CENTER
 講 師 陣 AOMORI STARTUP CENTER コーディネーター 植松 宏真 氏
 AOMORI STARTUP CENTER コーディネーター 村上 雅章 氏
 (株)ノットワールド 取締役 河野 有 氏
 (株)and more 代表取締役 久慈 美穂 氏
 (株)OZ 代表取締役 横山 全希 氏
 A-VENTURES(株) 代表取締役 畑井 謙吾 氏
 受講者数 18名 ※計画策定支援件数は後述の創業計画策定件数でカウント

◇事業承継セミナー

日 程 令和4年10月19日(水)
 場 所 青森商工会議所会館 7階 研修室
 講 師 本田社会保険労務士事務所 社会保険労務士 本田 淳也 氏
 受講者数 3名 ○事業計画策定支援件数 0件

②巡回・窓口相談による事業計画策定

経営指導員等が経営課題を抱える小規模事業者を訪問する巡回相談や当所に設置している相談コーナーでの窓口相談で、補助金の申請相談や金融相談等を行った事業者を対象に事業計画の策定支援を行った。

○中小企業等事業再構築補助金申請支援時における事業計画策定支援件数	9件
○小規模事業者持続化補助金申請支援時における事業計画策定支援件数	36件
○ものづくり補助金申請支援時における事業計画策定支援件数	3件
○経営革新計画申請支援時における事業計画策定支援件数	1件
○事業継続力強化計画申請支援時における事業計画策定支援件数	1件
○先端設備等導入計画申請支援時における事業計画策定支援件数	12件

○金融相談の対象者に対する事業計画策定支援件数

2件

合計

64件

③創業・第二創業計画策定支援

青森市と締結した「スタートアップの推進に関する連携協定」に基づき、当所1階に整備した「AOMORI STARTUP CENTER」において、青森市の起業・創業の専門家が中心となり、創業計画の策定支援を行った。

○創業計画策定支援件数 101件

④事業承継計画策定支援

前述の経営分析や当所の経営課題アンケート調査において事業承継に課題を抱えると回答した事業者を対象に、当所経営指導員等が事業承継計画を策定した。高度、専門的課題には青森県事業承継・引き継ぎ支援センター(21 あおもり産業総合支援センター)等と連携し対応した。

○事業承継計画策定件数 0件 (支援件数 104件)

【目標と結果】

	支援内容	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①-1「講習会等の開催」 ・開催件数	2回	2回	2回	2回	2回
	①-2「講習会等の開催」 ・セミナー参加者への事業計画策定件数	5件	5件	5件	5件	5件
	②巡回・窓口相談による事業計画策定件数 ・各種補助金申請者を対象とする件数 ・金融相談者を対象とする事業計画策定件数	20件 15件	20件 15件	20件 15件	20件 15件	20件 15件
	③創業・第二創業計画策定件数	26件	28件	30件	32件	34件
	④事業承継計画策定件数	3件	3件	3件	3件	3件
	事業計画策定件数	69件	71件	73件	75件	77件
結果	①-1「講習会等の開催」 ・開催件数	2回	4回			
	①-2「講習会等の開催」 ・セミナー参加者への事業計画策定件数	5件	3件			
	②巡回・窓口相談による事業計画策定件数 ・各種補助金申請者を対象とする件数 ・金融相談者を対象とする事業計画策定件数	52件 2件	62件 2件			
	③創業・第二創業計画策定件数	10件	101件			
	④事業承継計画策定件数	3件	0件			
	事業計画策定件数	72件	168件			

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

(1) 事業内容

これまで事業計画を策定した事業者のうち、セミナー参加事業者、各種補助金申請者、金融相談者、創業・第二創業者、事業承継計画策定者のフォローアップを行った。ただし、事業者からの申し出等により、臨機応変に対応した。

なお、進捗状況が思わしくなく、事業計画との間にズレが生じている場合には、エキスパートバンク、中小企業119や外部専門家等の第三者の視点を投入し、当該ズレの発生要因及び今後の対応策を検討の上、フォローアップ頻度の変更等を行った。

【目標と結果】

	支援内容	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①フォローアップ対象事業者数 ・当該年度に計画策定した者 ・前年度に計画策定した者	69者 —	71者 69者	73者 71者	75者 73者	77者 75者
	②フォローアップ件数 ○当該年度に計画策定した者を対象とする件数 ・セミナー参加者へのフォローアップ件数 ・各種補助金申請者を対象とする件数 ・金融相談者へのフォローアップ件数 ・創業・第二創業計画策定者へのフォローアップ件数 ・事業承継計画策定者へのフォローアップ件数 ○前年度に事業計画を策定した者を対象とする件数 頻度（延件数）	10件 40件 15件 26件 3件 —	10件 40件 15件 28件 3件 69件	10件 40件 15件 30件 3件 71件	10件 40件 15件 32件 3件 73件	10件 40件 15件 34件 3件 75件
	小計	94件	165件	169件	173件	177件
	売上増加事業者数	30者	30者	30者	30者	30者
	利益率3%以上増加の事業者数	30者	30者	30者	30者	30者
結果	①フォローアップ対象事業者数 ・当該年度に計画策定した者 ・前年度に計画策定した者	72者 —	143者 72者			
	②フォローアップ件数 ○当該年度に計画策定した者を対象とする件数 ・セミナー参加者へのフォローアップ件数 ・各種補助金申請者を対象とする件数 ・金融相談者へのフォローアップ件数 ・創業・第二創業計画策定者へのフォローアップ件数 ・事業承継計画策定者へのフォローアップ件数 ○前年度に事業計画を策定した者を対象とする件数 頻度（延件数）	5件 52件 2件 19件 3件 —	8件 62件 2件 3件 0件 72件			
	小計	81件	147件			
	売上増加事業者数 ※令和5年5月17日現在	15者	26者			
	売上総利益率3%以上増加の事業者数 ※令和5年5月17日現在	15者	27者			

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

(1) 事業内容

①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展（B to B）

「りんご」や「カシス」などの地域資源などを取り扱う小規模事業者を対象に、域外への販路開拓のための各商談会、展示会への参加支援を行った。出展にあたり、FCP シートの作成や商談後の商品のブラッシュアップなどのフォローを行った。

(実施内容)

◇青函商工会議所パートナーシップ支援事業

日時 令和5年2月16日(木) 14:30~18:00(構築懇談会)

場所 フォーポイントバイシェラトン函館

内容 青森・函館商工会議所管内事業所同士による販路開拓や技術提携、新規ビジネス創出

参加者 8事業者

(株式会社青森日商連、株式会社はとや製菓、株式会社JR東日本青森商業開発、一般財団法人青森市産業振興財団、株式会社青森機械、グロスウェイ

ブ株式会社、株式会社元木商店、NPO法人プラットフォームあおもり)
○商談成立件数0件 (商談継続中)

②食品を販売する事業者等を対象にした催事及び展示販売会等への出店支援の実施 (B to C)

経営状況分析や事業計画策定支援を行った小規模事業者(菓子製造小売店や食品加工事業者)の新規顧客獲得を目的に、展示販売会等への出店を支援した。出店にあたり、自社の認知度向上や商品のPR方法について事前に専門家による指導を受けたほか、必要があればその後の商品のブラッシュアップ等のフォローを行った。

【支援対象】菓子製造小売業や食品加工事業等を営む小規模事業者

【支援の手段・方法】自社の認知度向上や商品のPR方法について事前に専門家による指導を受け、AOMORI STARTUP CENTER内で商品を販売した。

(実施内容)

◇AOMORI STARTUP CENTERを利用して創業した事業者や、青森商工会議所会員で新規店舗や新規メニュー開発を行っている飲食店の販路拡大を支援するため、参加事業者が調理した弁当等をAOMORI STARTUP CENTER内で直接顧客へ販売し、店舗や商品のPRや新規メニュー等の反応などを確かめる事業を実施した。

- ・支援内容 メニューチラシ、店舗紹介チラシの作成支援
作成したチラシを青森市役所駅前庁舎、青森商工会議所会館等へ配布。
青森商工会議所のHP及びAOMORI STARTUP CENTERのSNS等で公開。
- ・参加事業者 7社(キズナベーカリー、居酒屋杏の家、ご縁、アンダーラウンジ、小青島、幸ノ鶏、万華堂)
- ・開催期間 令和4年4月～令和5年2月 延べ144回
- ・販売累計額 2,181,050円 ○売上平均額311,578円/社

③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓 (B to B)

これまで実施してきた青森商工会議所・函館商工会議所の会員事業所によるビジネスマッチング事業の実施が、新型コロナウイルス感染症の影響により難しくなったことから、Zoom等を活用したオンライン上でのビジネスマッチング事業を実施した。

(実施内容)

◇地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル構築事業

日時 令和4年4月～令和5年3月

場所 オンライン

内容 Zoom等ビデオ会議サービスを活用したオンライン上でのビジネスマッチング。

参加者 10事業者 (株式会社エイ・ワンド、小田桐錦石研究所、コノハト株式会社、株式会社三光物産、合同会社 dashi-factory 雅、とうふ工房、株式会社はとや製菓、合同会社青森ふあいん、テキスタイルスタジオ村上、有限会社ヤカタイティング)

○マッチング件数2件 ○成約件数2件

④ITを活用した販路開拓支援の実施 (B to C)

小規模事業者の中には、自社のWEBサイトの作成やSNSを通じた顧客との関係の構築、EC展開などに関心があるもののいまだに整備の進んでいない事業者も少なくない。そこで、ITを活用した販路開拓の手法や、EC展開を支援するセミナーを開催し販路開拓を支援した。また、セミナー終了後には、個別相談や巡回によりフォローアップを図った。

(実施内容)

◇ITを活用した販路開拓支援事業

日程	セミナー	令和5年1月24日(火)	15:00
	個別相談会	令和5年1月25日(水)	11:00
		令和5年1月31日(火)	13:30
		令和5年2月10日(金)	13:30

場 所 青森商工会議所会館 1階 AOMORI STARTUP CENTER、各事業所
 講 師 工藤 淳生 氏 (合同会社 StartUpNow 代表)
 受講者数 延べ19名 ○支援事業者数3社 ○売上高5%以上増加の事業者1社

【目標と結果】

	項 目	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展 ・出展者数 ・成約件数	3社 1件	3社 1件	5社 1件	5社 1件	5社 1件
	②食品を販売する事業者等を対象とした催事及び展示販売会への出展 ・出展者数 ・売上額/社	3社 5万円	3社 5万円	5社 5万円	5社 5万円	5社 5万円
	③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓 ・出展者数 ・成約件数	10社 2件	10社 2件	10社 2件	10社 2件	10社 2件
	④ITを活用した販路開拓支援の実施 ・支援事業者数 ・売上高5%以上増加の事業者数	3社 3社	3社 3社	5社 5社	5社 5社	5社 5社
結果	①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展 ・出展者数 ・成約件数	4社 0件	8社 0件			
	②食品を販売する事業者等を対象にした催事及び展示販売会等への出店 ・出展者数 ・売上額/社	3社 11万円	7社 31万円			
	③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓 ・出展者数 ・成約件数	10社 0件	10社 2件			
	④ITを活用した販路開拓支援の実施 ・支援事業者数 ・売上高5%以上増加の事業者数	5社 3社	3社 1社			

経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

(1) 事業内容

毎年度、本計画に記載の事業の実施状況及び成果について、以下の方法により評価・検証を行うとともに、事業の見直しについては委員会内で検討し必要があれば事業内容を変更する。

【構成メンバー】青森市担当課長、税理士、中小企業診断士、当所専務理事

【開催頻度】1回/年

【評価・検証方法】・青森市、税理士、中小企業診断士等の外部有識者により事業の実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行う

・事業の成果・評価・見直しの結果については正副会頭に報告し、承認を受ける

- ・事業の成果・評価・見直しの結果を当所のホームページで計画期間中公表する

○令和5年5月22日（月）開催

8. 経営指導員等の資質向上等に関すること

(1) 事業内容

①「経営指導員等情報交換会」の開催

経営指導員等の支援ノウハウや小規模事業者の景気、需要、金融動向等の情報を交換する「経営指導員等情報交換会」を毎月開催した。開催にあたっては、これまで対象だった若手経営指導員に補助員や一般職員も加えた。

◇経営指導員等情報交換会 16回開催

金融担当課以外の経営指導員に加え今後経営指導を行う補助員や一般職員も交え、マル経審査会への推薦案件の融資のポイントや今後の経営支援の方策等について情報共有を図った。

②組織内での支援ノウハウの共有

経営支援システムである「Biz ミル」等を活用することにより、個人に帰属することが多い支援ノウハウを蓄積し、組織内で共有することにより当所の支援能力の底上げを図った。

◇経営支援の担当課内において、「経営支援システム（Biz ミル）」及び「商圈情報サービス（MieNa）」の利用方法について情報共有を行った。

9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

(1) 事業内容

①小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会（2回/年）

日本政策金融公庫青森支店と管内商工会議所が連携して、年2回の小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会を開催した。ここでは、管内経済動向や小規模事業者に対する金融、創業、経営支援の現状、課題、今後の取組みについての情報交換を行うことにより当地域における小規模事業者への支援及び地域振興に向けた支援力向上を図った。また、日本政策金融公庫青森支店担当者による毎月2回の金融相談窓口等により、金融専門家による融資手法等の支援ノウハウの習得を図った。

◇小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会 2回開催

第1回 日時 令和4年7月12日（火）14:00～15:00

場所 オンライン開催

第2回 日時 令和5年2月2日（木）15:30～17:00

場所 ホテル青森 錦鶏の間

◇金融相談窓口での対応

開催数 15回（1/19（木）、2/3（金）、2/16（木）、3/16（木）、4/7（木）、4/21（木）、5/12（木）、6/16（木）、7/7（木）、8/4（木）、9/8（木）、10/20（木）、11/8（火）、12/1（木）、12/15（木）

相談者数 23名

②その他支援機関との情報交換

青森県信用保証協会の「青森県中小企業支援ネットワーク会議（1回/年）」、青森県の「地域金融推進協議会（2回/年）」等において、地元金融機関、他支援機関等による支援ノウハウ、支援の現状、支援の課題等についての情報交換や中小企業119、よろず支援拠点の専門家との連携により、専門家による企業支援のノウハウ等の習得により支援力向上を図った。

◇令和4年度 青森県中小企業支援ネットワーク会議

日時 令和4年11月15日（火） 14:00～17:00

場所 アップルパレス青森

◇令和4年度 第1回地域金融推進協議会

日時 令和4年6月24日（金）10:30～12:00

場所 県庁南棟4階A会議室

◇令和4年度 第2回地域金融推進協議会

日時 令和4年8月25日（木）13:30～15:00

場所 県庁南棟4階A会議室

◇令和4年度 第3回地域金融推進協議会 ※書面開催

◇保証協会との情報交換会

日時 令和5年1月30日（月）16:30～17:00

場所 青森商工会議所5階ミーティングルーム4

10. 地域経済の活性化に資する取り組みに関すること

(1) 事業内容

①国内外からの誘客推進並びに経済交流推進事業

コロナ禍後の観光客受入態勢を早急に整備し、定期航空路線を活用した国内旅行の促進や、関係行政・団体で構成するミッション団による経済界や企業に対して本県の地理的優位性を活かしたセールスとMICE誘致等に有効な情報提供を行い、交流人口の拡大、外貨を獲得するとともに、定期航空路線が開設されている韓国、中国、台湾及び、クルーズ船の寄港で訪れる多くの外国人観光客の受け入れ態勢整備へ向けた取り組みを行った。

(実施内容)

青森空港利用促進(青森空港国際化促進協議会への支援)

◇会議の開催

・ 定例総会

期 日 令和4年7月5日(火)～20日(水) (書面開催)

議決権行使数 148名(賛成148名、反対0名)

議 案 ①令和3年度事業報告書並びに収支決算書の承認について

②令和4年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の承認について

③任期満了に伴う役員の改選について

・ 事務局会議

日 時 令和4年6月13日(月) 15:00

場 所 青森商工会議所 5階 ミーティングルーム1

案 件 ①令和4年度青森空港国際化促進協議会定例総会付議案件について

日 時	令和4年11月24日(木) 15:00
場 所	青森商工会議所 5階 ミーティングルーム1
案 件	①令和4年度青森空港国際化促進協議会補正予算について ②その他

◇実施事業

- ・ソウル定期便利用促進事業
「ペアで体験！青森空港利用オンラインモニターツアー」への商品補助、広告負担
県内中学生向けオンラインツアー助成
大韓航空前ねぶたの制作
2Wayチャーター便運航の際の商品助成及びパスポート助成の実施
- ・台北定期便利用促進事業
「ペアで体験！青森空港利用オンラインモニターツアー」への助成
県内中学生向けオンラインツアー助成
エバー航空前ねぶたの制作
- ・国際定期便充実強化事業
青森・ソウル線 PR 特別番組「ソウルのあの場所 徹底調査！ ～気になる場所をめぐるソウル旅～」制作及び放送
放送日：令和5年1月21日(土)
- ・関係機関要望事業
2Wayチャーター便運航の際、関係機関に対し早期の複便を要望
日 時：令和5年2月23日(木)～26日(日)
訪問先：大韓航空ソウル支店、JNT0 ソウル事務所、韓国観光公社、ハナツアー等
- ・国際定期便等広報事業
青森県内マスコミによる韓国取材ツアーへの開催
「話してみよう韓国語」青森大会への協賛
- ・新型コロナウイルス感染症対策事業
㈱大韓航空青森事務所における家賃補助
青森空港ビル㈱におけるチェックインカウンターリース料補助
- ・各種イベント参画・協賛
青森空港 空の日記念事業実行委員会
「話してみよう韓国語青森大会」

◇定期航空路線を活用した交流推進事業

観光・ビジネス・人的交流など誘客促進に向けて、青森県観光国際戦略推進本部並びに(公社)青森県観光連盟の活動に参画し、コロナ禍における観光・コンベンションの振興のための全県的な取組みを推進した。

- ・定期航空路線を活用した交流推進事業

国内定期航空路線の維持拡大と交流人口の増加、産業・地域振興を目的に、神戸市において、当地の優位性を活かしたビジネス、観光による交流推進事業を実施した。

期 間 令和5年3月7日(月)～8日(火) 1泊2日

参加者 18名(青森県商工会議所連合会役職員、県交通政策課、県地域産業課)

内 容 県内の観光に関する情報提供、観光ビジネスによる相互交流推進の協力要請を行った。

(神戸商工会議所との懇談会)

日 時 令和5年3月7日(月) 16時30分～17時30分
 場 所 神戸商工会議所 3階役員会議室
 出席者 会 頭 川 崎 博 也
 副会頭 吉 井 満 隆
 専務理事 楠 山 泰 司
 常務理事 津 田 佳 久
 理事・事務局長 関 口 幸 明
 地域政策部部长 西 口 基 之
 " 次長 平 井 克 幸
 " 主査 兵 頭 拓 朗
 " 新 家 隆

(白鶴酒造株式会社との懇談会)

日 時 令和5年3月8日(火) 10時30分～11時30分
 場 所 白鶴酒造株式会社 5階会議室
 出席者 取締役常務執行役員 営業本部長 マーケティング本部担当
 島 田 勝
 取締役執行役員 管理本部長総務人事部長・CSRコンプライアンス推進担当
 中 西 典 哉
 執行役員 生産本部副本部長 伴 光 博
 執行役員 マーケティング本部長 森 伸 夫
 管理本部 IT推進室長 総務人事部次長 西 田 正 裕
 総務人事部 広報室長 植 田 尚 子
 神戸商工会議所地域政策部 次長 平 井 克 幸

②ヘルスケア・ビジネス創造事業

地域観光事業者や地元大学と連携し、観光商品化の推進と県内企業の健康経営に資する福利厚生プログラムを展開した。

(実施内容)

◇会 議

・クア(健康)ガイド協会総会

日 時 令和4年4月12日(火) 11:00
 場 所 青森商工会議所 7階 研修室

・クア(健康)ガイド協会反省会

日 時 令和4年11月18日(金) 11:30
 場 所 青森商工会議所 5階 ミーティングルーム1

◇青森銀行と連携したドイツ式健康ウォーキングの開催

日 時 令和4年10月22日(土) 9:00～12:00

場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)

参加者 34名

◇一般参加者を対象とするドイツ式健康ウォーキング

日 時 令和4年5月15日(日) 9:00~12:00

場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)

参加者 27名

日 時 令和4年6月12日(日) 9:00~12:00

場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)

参加者 34名

日 時 令和4年7月10日(日) 9:00~12:00

場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)

参加者 19名

日 時 令和4年9月11日(日) 9:00~12:00

場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)

参加者 25名

日 時 令和4年10月16日(日) 9:00~12:00

場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)

参加者 33名

③中心市街地活性化事業

少子高齢化、消費生活等の状況変化に対応して、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を一体的に推進するため、中心市街地活性化協議会（事務局：青森商工会議所）及び四者連携（JR 東日本、青森県、青森市、青森商工会議所）等の取組により、中心市街地の活性化と回遊性向上を、民間主導の再開発事業や青森駅を中心とした一体的整備事業、広域的なソフト事業等を促進させることで市民はもとより来街者の流入を加速させる魅力あるまちづくりを進めた。

(実施内容)

中心市街地における、市街地整備事業(再開発事業等)の具現化を推進するために、当該地区権利者等によって検討されている活性化プロジェクトの実現に向けた取り組みについて支援した。

◇中新町山手地区第一種市街地再開発事業への支援

※オブザーバーとして参加

・会議開催状況

通常総会 令和4年 5月26日(木)

理事会 令和4年 4月18日(月)

令和4年 5月26日(木)

令和4年 7月28日(木)

令和4年 9月28日(水)

令和4年 12月1日(木)

令和5年 3月2日(木)

- ・その他の市街地整備事業に対する支援

商店街空き店舗調査

◇「青森市リノベーションまちづくり推進協議会」への協力

- ・青森市リノベーションまちづくり推進事業

本市のストック(建物、空間等)を活用して自律的な活動を民間組織が生み出していくリノベーションまちづくりを推進するため、新たなまちづくりの担い手の発掘や育成、リノベーションまちづくり推進イベント等を実施した。

日 時 令和4年8月22日(月) 18:00

場 所 PENT HOUSE

日 時 令和5年1月26日(木) 18:00

場 所 PENT HOUSE

◇青森市公共空間活用推進事業

公有財産の有効活用の推進に向けて、公民連携による新たな公共空間の利活用の検討及び実施を行うことを目的として実施した。

- ・公共空間活用作業部会ワーキングの開催

第1回ワーキング

日 時 令和4年10月26日(水) 15:30

場 所 青森商工会議所 ミーティングルーム1

◇新町一丁目・古川一丁目周辺街区賑わい創出事業

青森市新町一丁目地区優良建築物整備事業(THREE)の工事が本格化する中、都市機能誘導区域として、街区形成の在り方の検討及び、起業・創業希望者や地域事業者によるマッチング事業を中心市街地活性化協議会と協力の上、ワーキングを行った。

- ・第4回ワーキング

日 時 令和4年10月27日(木) 16:00

場 所 青森商工会議所 7階 研修室

説 明 「これまでのワーキングの振り返りとファシリテーターからの提案」

ファシリテーター 弘前大学教育学部 教授 北原 啓 司 氏

合同会社 tecoLLC 代表 立木 祥一郎 氏

フクシアンドフクシ建築事務所 代表 福 士 讓 氏

”

福 士 美奈子 氏

◇「商業活性化」推進事業

流動人口増加並びに街区内での回遊性を向上させるためのソフト事業を実施した。

◇まちなかレンタサイクル事業

実施期間 令和4年4月29日(金・祝)～令和4年10月31日(月)

貸出場所・台数 青森駅前自転車等駐車場(指定管理者:青森アドセック株) 25台

ホテル青森 10台

ホテルサンルート青森 2台

アートホテル青森 3台

青森県営駐車場(指定管理者：(株)ブルーマウステクノロジー)

3台

貸出実績 計1,763台(令和3年度比681台増)

◇まちなかサポーターズ事業(しかへらあ～s)

実施期間 令和4年4月～令和5年3月

構成員 青森公立大学学生 計67名(前年比15名増)

活動内容 来街者に対する挨拶・清掃活動

◇事業効果の検証及び活性化事業調査研究

中心市街地及び他の関連する地区における調査や意見聴取等を実施し、将来の事業計画策定等に資する効果検証事業を行う。

◇歩行者通行量調査等の実施

春季調査：令和4年 6月24日(金) 7:00～19:00

25日(土) 9:00～19:00 全41地点

秋季調査：令和4年10月28日(金) 7:00～19:00

29日(土) 9:00～19:00 全21地点

※通勤者の計測を目的に、平日の調査時間を7:00から実施した。

④株式会社まちづくり青森との連携

中心市街地の賑わい創出を目的に、当所の出資により設立した「株式会社まちづくり青森」は、中心市街地への出店を目指す新規起業者のチャレンジショップである「パサージュ広場」の運営を担い、当所1階の「AOMORI STARTUP CENTER」と連携し、チャレンジショップで新たに起業する事業者の伴走型支援を行った。

(実施内容)

◇(株)まちづくり青森への事業協力

都市の魅力づくりを総合的に推進し、中心市街地の活性化を実現するために(株)まちづくり青森の運営と、さらなる活用方法の検討を行った。また、パサージュ広場における商業ベンチャー支援事業について、同社と共同で効果的な運営を効果的な運営を行った。

◇商業ベンチャー支援業務の受託について

パサージュ広場の出店者の経営指導並びに施設の運営管理を行う「青森市商業ベンチャー支援事業」について、AOMORI STARTUP CENTERとの連携によって、より専門的な経営指導や独立支援を行う事で、起業者への支援を充実させていくことを目的に、青森市からの業務委託を受託し、事業を実施した。

商業ベンチャー支援業務の受託期間

期 間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

商業ベンチャー支援業務の内容

運営方針の作成

「令和4年度 商業ベンチャー支援業務に係る運営方針」を作成

・出店者の状況について(令和5年3月31日時点)

区画	店舗名
A-1	BAR
A-2	メキシコ食堂 トレス(令和4年4月27日退店)
A-2	Wanna eat(令和4年7月25日出店)
A-3	麵処 石岡喜一郎商店(令和4年12月23日退店)
A-3	空き区画(令和5年1月16日~)
B-1	バル酒場 お陽さまが見てるよ
C-1	ウマイモノ食べ呑み処おんず食堂
C-2	リトル台湾ご縁(令和4年8月31日退店)
C-2	空き区画(令和4年9月15日~)
C-3	mominutes(令和4年12月15日出店)
C-4	THE KAPS(令和4年9月17日退店)
C-4	※晩酌 ya Bears Home(令和5年3月10日出店)
D-1	新町チキン

※令和5年4月中旬店舗オープン予定

・ 出店状況の報告

青森市に対し、毎月出店状況について報告を行った。

・ パサージュ広場出店者協議会の開催について

令和4年4月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和4年4月20日(水) 14:00

出席者 10名

令和4年5月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和4年5月18日(水) 14:00

出席者 10名

令和4年6月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和4年6月15日(水) 14:00

出席者 10名

令和4年7月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和4年7月20日(水) 14:00

出席者 10名

令和4年8月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和4年8月24日(水) 14:00

出席者 10名

令和4年9月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和4年9月21日(水) 14:00

出席者 10名

令和4年10月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和4年10月19日(水) 14:00

出席者 6名

令和4年11月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和4年11月16日(水) 14:00

出席者 9名

令和4年12月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和4年12月21日(水) 14:00

出席者 6名

令和5年1月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和5年1月18日(水) 14:00

出席者 8名

令和5年2月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和5年2月15日(水) 14:00

出席者 10名

令和5年3月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和5年3月15日(水) 14:00

出席者 9名

・支援施設の確保

商業ベンチャー支援業務の実施のため、支援施設を確保(賃借)し、管理を行った。

・イルミネーションの設置及び撤去

点灯期間 令和4年12月9日から令和5年2月28日まで

⑤青森地域5大学等との連携事業

・青森地域産学連携懇談会の開催

当所は、青森地域5大学及び2短期大学(弘前大学、青森県立保健大学、青森公立大学、青森大学、青森中央学院大学、青森中央短期大学、青森明の星短期大学)と産学連携協定を締結している。

青森地域の大学の「知」を活かし、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的としており、地域産業の振興、地域活性化(中心市街地活性化等)、健康福祉の増進、人材育成に関する連携・協力を円滑に進めるための情報交換・共有の場として懇談会を開催した。(事務局:青森商工会議所)

(事業内容)

◇青森地域産学連携懇談会の開催

・事務局会議

日 時 令和4年6月9日(木) ※書面開催

案 件 第1号 令和4年度青森商工会議所と青森地域7大学・短大との連携事業について

・青森地域産学連携懇談会

日 時 令和5年3月27日(月) 14:00

場 所 ホテル青森 3階 あすなろの間

報 告 各大学・短期大学が実施している産学連携事業等について報告
「地元大学生の県内定着について」意見交換を重ねた

⑥まちなかキャンパスの開催

青森地域産学連携懇談会事業として、大学の地域貢献の観点から、中心市街地活性化の一環として、街区内の公共施設等を会場に、各大学がそれぞれ一般・学生を対象とした公開講座「まちなかキャンパス」を開催した。

(実施内容)

◇青森中央学院大学

認定件数 24講座

「生き生きシニアライフ」

「ニュースがもっとよくわかる教養講座」

「脳活いきいきプログラム」

「異文化理解講座」

◇青森大学

認定件数 27講座

「青森KEN民塾例会兼櫛引研究室・まちなかゼミ」

「青森大学オープンカレッジ市民大学講座」

「あおり新幹線研究連絡会フォーラム」

◇青森県立保健大学

認定件数 2講座

「地域の健康と福祉を考える～国内外の研究と実践報告から～」

⑦人財育成 雪花雪中塾の開講

本市の社会的課題の洗い出し、シーズの発掘や実証実験等を通じ、地域課題解決に資する新たなビジネスの創出に向けセミナー、ワークショップといった個者支援事業を行う雪花雪中塾を開講した。

(実施内容)

◇人財育成 雪花雪中塾の開講

・オリエンテーション

日 時 令和4年5月12日(木) 18:00～19:00

場 所 青森商工会議所1階スタートアップセンター

テ ー マ 令和4年度雪花雪中塾について

参 加 者 55名(会場参加25名、オンライン30名)

・第1回

日 時 令和4年6月2日(木) 18:00

場 所 青森商工会議所会館1階 AOMORISTARTUPCENTER・オンライン (zoom)

テ ー マ 「浅虫温泉活性化社会実験PJの取組と情熱を語る」

- 参加者 37名(会場参加21名、オンライン16名)
- ・第2回 ※フィールドワーク
 - 日時 令和4年6月26日(日) 10:00
 - 場所 浅虫温泉エリア
 - テーマ 地域とサポーターを繋ぐ新たなコミュニティの仕組み
 - 参加者 20名
 - ・第3回
 - 日時 令和4年7月7日(木) 18:00
 - 場所 青森商工会議所会館1階 AOMORI STARTUP CENTER、オンライン(zoom)
 - 内容
 - イ) フィールドワークの振り返り(30分)
 - ロ) 講話
 - 演題 地域活性化-経験値の向上-
 - ハ) 話題提供
 - 演題 ~あれから2週間の浅虫~
 - 参加者 18名(会場参加12名、オンライン6名)
 - ・第4回
 - 日時 令和4年8月18日(木) 18:00
 - 場所 青森商工会議所会館1階 AOMORI STARTUP CENTER、オンライン(zoom)
 - 内容
 - 浅虫温泉活性化プロジェクト・フィールドワークへの感想・講評
 - 発表者：雪花雪中塾塾生5名
 - 参加者 22名(会場参加12名、オンライン10名)
 - ・第5回
 - 日時 令和4年9月8日(木) 18:00
 - 場所 青森商工会議所会館1階 AOMORI STARTUP CENTER、オンライン(zoom)
 - 内容
 - イ) 話題提供
 - 演題 青森中央学院大学サテライトキャンパス「フレンドリーウインドウ」並びに青森中央学院大学(青森田中学園)がもつコンテンツについて
 - ロ) 講話
 - ①演題 空間プランニングの考え方
 - ②演題 HIRAKUIKEBUKUROの事例について
 - 参加者 17名(会場参加10名、オンライン7名)
 - ・第6回 ※フィールドワーク
 - 日時 令和4年9月25日(日) 10:00
 - 場所 青森中央学院大学サテライトキャンパスフレンドリーウインドウ
 - テーマ 青森中央学院大学サテライトキャンパスフレンドリーウインドウの活性化について
 - 参加者 5名

・第7回

日時 令和4年10月6日(木) 18:00
場所 青森商工会議所会館1階 AOMORI STARTUP CENTER、オンライン (zoom)
内容 イ)「フレンドリーウインドウ」フィールドワークについて
ロ) ワークショップ
テーマ: フィールドワークに基づく課題や具体のアクションの整理
参加者 13名(会場参加10名、オンライン3名)

・第8回

日時 令和4年11月3日(木・祝) 18:00
場所 青森商工会議所会館1階 AOMORI STARTUP CENTER、オンライン (zoom)
内容 イ) 説明
フレンドリーウインドウプロジェクトのクロージングについて
ロ) ワークショップ
テーマ: 「フレンドリーウインドウ」アクションの構築について
参加者 13名(会場参加10名、オンライン3名)

・第9回

日時 令和4年12月8日(木) 18:00
場所 青森商工会議所会館1階 AOMORI STARTUP CENTER、オンライン (zoom)
内容 話題提供
演題 新町1丁目・古川1丁目周辺街区賑わい創出事業の進捗について
参加者 16名(会場参加10名、オンライン6名)

・第10回

日時 令和5年1月11日(水) 18:00
場所 青森商工会議所会館7階 研修室、オンライン (zoom)
内容 イ) 講義
演題 「地域組織としてのNPOの可能性と課題」
ロ) 講義
演題 「地域組織の組成とマネジメント術」
参加者 22名(会場参加17名、オンライン5名)

・第11回

日時 令和5年2月2日(木) 18:00
場所 青森商工会議所会館1階 AOMORI STARTUP CENTER、オンライン (zoom)
内容 イ) 講義
演題 「地域課題との向き合い方」
参加者 20名(会場参加15名、オンライン5名)

・第12回

日時 令和5年3月2日(木) 18:00
場所 青森商工会議所会館1階 AOMORI STARTUP CENTER、オンライン (zoom)

⑧コロナ禍における商取引支援事業

新型コロナウイルス蔓延によって外出自粛や休業要請など事業所が混乱状況の中、来店客数の減少による食品ロスの問題や、物産展・イベント等の中止または延期になったことによる食材や商材の過剰在庫の解消と、急激に落ち込んだ売上の回復・販売促進の支援を目的に「ふんばるアオモリ ヒト・モノ・コト情報広場」と題し、各事業所の在庫情報を収集し WEB 上で公開、購入を希望する一般消費者に対し幅広く情報を発信した。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地元事業者の支援を目的に、市民の生活を応援し市内の消費喚起に繋げるためのプレミアム付商品券を発行した。

(実施内容)

◇消費喚起事業

・「ふんばるアオモリ」プロジェクトの実施

新型コロナウイルスの感染拡大が、地域経済には大きな影響を及ぼし、市内の宴会場や飲食店が厳しい状況となっていることを受け、新たにテイクアウトやデリバリーサービスを始める事業所、既に提供されている事業者を紹介するサイトを新設し、飲食店の PR を応援した。

181事業所が参加。

・ふんばるアオモリ タクシー

「ふんばるアオモリ テイクアウト」の利用を拡大すべく、青森市タクシー協会の協力を得ることで、テイクアウトメニューを自宅まで届ける(買い物代行サービス)スキームを案内。現在まで4事業所(珍田タクシー・三八五観光タクシー・相互交通・北星交通タクシー会社)で実施。

・ふんばるアオモリ ヒト・モノ・コト情報広場(令和2年4月17日～)

商品・物資・サービスなどの「売りたい」情報提供と、事業者の「買いたい」ニーズ等が閲覧・マッチングできる情報掲示サイト「緊急在庫マーケット」。「ヒト」情報は18事業所、「モノ」情報は49事業所、「コト」情報は19事業所から寄せられた。

・ふんばるアオモリ Let's Eat!

感染症対策を実施している飲食店をホームページで紹介。ホームページ掲載店舗は185店舗の参加があった。

また、感染状況が悪化し、市民の飲食店を訪れる足が遠のいている状況を鑑み、更にきめ細かい感染症対策項目を追加し、対策を講じている店舗は「Let's Eat!」特設ページ上で改めてご紹介した。追加した感染対策項目を実施している店舗は59件。

・飲食店支援策「あおもり食ガチャ」

市内商業施設にガチャガチャを設置し、ガチャカプセルの中には同事業参加飲食店舗いずれかのお食事券が入れられているだけでなく、ダブルチャンスとして、参加店が指定するミッションをクリアすると、特典を受けることができる。クーポン裏面には3月に開催するあおもりバル街の事業告知も掲載した。

ガチャ設置日時 (1)令和5年2月3日(金) 16:00

(2)令和5年2月4日(土) 14:00

ガチャ設置場所 (1)さくら野百貨店青森店本店 6階 催事場

(2)サンロード青森 1階 サンホール

料 金	1回1,000円
参加店舗	57店舗
景品個数	342個(1店舗あたり2,000円×5個、5,000円×1個)

◇青森市プレミアム付商品券事業

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある地域経済の回復と地元事業者の支援に向け、市民の生活を応援し市内の消費喚起に繋げるためのプレミアム付商品券を発行した。

【第1弾】

・商品券販売実績

販売仕様 1,000円×15枚の商品券を10,000円で販売。
(市民1人1セット購入可能)

販売期間 令和4年6月1日(水)～7月31日(日)

販売店 計76箇所(17事業所・団体)

販売数 241,074セット(購入率約88.1%)

販売総額 3,616,110千円

・商品券利用可能店

募集期間 令和4年4月11日(月)～6月30日(木)

登録料 無料

参加資格 青森市内に店舗を有する者

換金手数料 無料

登録店舗数 2,182店舗(青森地区2,075店、浪岡地区107店)

・商品券利用実績

利用期間 令和4年6月1日(水)～8月31日(水)

利用総額 3,609,707千円

精算回数 全10回

【第2弾】

・商品券販売実績

販売仕様 1,000円×15枚の商品券を10,000円で販売。
(市民1人1セット購入可能)

販売期間 令和5年1月7日(土)～2月19日(日)

販売店 計75箇所(17事業所・団体)

販売数 236,670セット(購入率約87.0%)

販売総額 3,550,050千円

・商品券利用可能店

募集期間 令和4年12月3日(土)～令和5年1月31日(火)

登録料 無料

参加資格 青森市内に店舗を有する者
換金手数料 無料
登録店舗数 2, 158店舗(青森地区2, 051店、浪岡地区107店)

・商品券利用実績

利用期間 令和5年1月7日(土) ~ 2月28日(火)
利用総額 3, 554, 882千円
精算回数 全7回

以上